

全文「ですます」調でお書きください。

推薦様式3-2

課題情報シート

テーマ名 :	フリースペースリフォームへの取り組み				
担当指導員名 :	黒瀬 敏浩	実施年度 :	26 年度		
施設名 :	関東職業能力開発大学校附属千葉職業能力開発短期大学校				
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	住居環境科		
課題の区分 :	総合制作課題	学生数 :	5	時間 :	12 単位 (216h)

課題制作・開発のポイント

【開発（制作）のポイント】

何もない空間が提供され、そこから価値のある空間へリフォームするためには、2年間の専門課程で学んだ基本的な知識・技能をそのまま活用するだけではほとんど対応できません。そのため、リーダーを中心とした学生たちが協力しながら本実習に取り組むことによって、基本的スキルの再確認、内装施工技術、問題解決力、工程管理能力、安全衛生管理能力、コミュニケーションスキルの向上をねらった課題となるように考えています。

【訓練（指導）のポイント】

上記のように、実習棟の1室を利用し、住居環境科の学生が様々な場面で活用できるスペースを創造することをテーマとしています。施工条件として、「できる限り既存の躯体を傷つけない。」および「施工終了後は速やかに解体することができる。」方法について考慮しながら設計・施工するように指示がだされています。また、安全衛生面を除き、教員からの指示は極力出さないようにしましたので、学生たち自らの力で様々な施工方法について検討し、創意工夫をしながら本課題を完成させており、専門課程2年間の技術・技能の集大成だと考えています。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 関東職業能力開発大学校附属千葉職業能力開発短期大学校
住所 : 〒286-0045 : 千葉県成田市並木町 221-20
電話番号 : : 0476-22-4351 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/chiba/college/index.html>

課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を掲載しています。

フリースペースリフォームへの取り組み

千葉職業能力開発短期大学校
住居環境科

指導教員 黒瀬 敏浩

要約 授業の空き時間や昼食時に、住居環境科の学生が利用していた本校の実習棟 3 階にある雑然とした空間を、学生が必要とする「修学」「求人」「学務」などの情報を共有できる有機的な空間へのリフォームについて取り組んだ。このリフォームにおける企画・立案から竣工に至るまでの過程について報告する。

1. はじめに

今回、フリースペースを学生が快適に過ごせる空間に設計し、実際に施工までを行う。一連の流れを実際に経験し、設計と施工の双方に通ずる知識・技能を習得することを目的とした。

2. 製作過程

今回の取り組みの流れは次の通りである。

1. 企画
2. 現地調査
3. 設計案作成
4. 科内コンペティション
5. 施工図作成・積算・発注
6. 施工前準備
7. 施工
8. 竣工

2-1 企画

フリースペースは暗く殺風景で、決して快適とは言えない状態であり、利用する学生も限定的になっていた。今回、より多くの学生に利用してもらうべく、快適で利用しやすい空間をめざし、リフォームを行う。

2-2 現地調査

フリースペースのリフォームに取り組むに当たり、室内の床面積、黒板の位置など部屋の仕様、使用状況および学生の声などを調査し新設計案作成のための資料とした。



図 1 フリースペース（施工前）

2-3 設計案作成

各ゼミ生は、落ち着いた雰囲気のある自学自習スペースや求人情報の掲示スペースを確保することなど、提示された設計条件を満たす、設計案を検討し意匠図および 3D データなどの科内コンペティション用データを、作成した。

2-4 科内コンペティション

各設計案を科内コンペティションで発表

し、住居環境科の学生全員に審査してもらった結果、最も支持を得たのが図2の設計案である。この設計案のコンセプトは「和み」で、靴を脱いでくつろぐ、空間の一部に畳を使用するなど、和の様式を基調とした落ち着いたデザインとなっている。

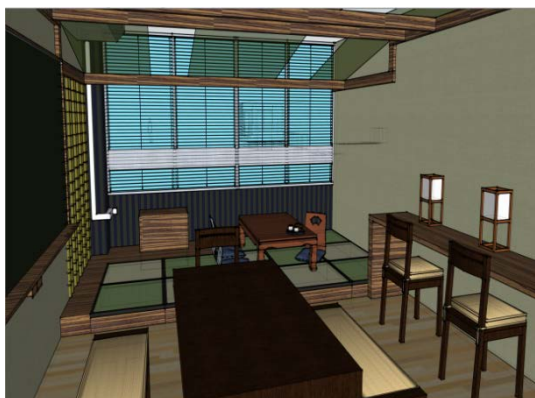


図2 フリースペース設計案

2-5 施工図作成・積算・発注

科内コンペティションで最も評価の高かった設計案を基に施工図を作成し、併せて資材の選定・発注も行った。

2-6 施工前準備

前準備として、清掃、墨出し、床の不陸測定を行った。それに伴いカイモノを作成し、後の工程で入れる。

2-7 施工

施工は主に床・壁・梁の3つの段階に分けて行った。まず現地調査で判明した問題を解決するべく、桢組と大引を設置した後、カイモノを使用して不陸の調整を行った。

設計案では、床仕上げが畳とフローリングに分かれ、畳の部分はフローリングに比べ10 cm程度あげる設計となっている。どのように高さを変えるかが問題となったが、

畳部分には既存の床に大引を入れ、上に根太と合板を敷き、フローリング部分は桢組みと根太を床に置き施工していくことで床の高さを調整した。

梁の施工は、当初の計画では既存の壁に梁を直接施工する予定であったが、施工時に既存の壁についてしまう傷を減らすために、柱を立てて梁を支える施工方法に変更した。床には柱受け材を設置し、その上に柱を立てて頭つなぎで各柱を固定し、金物を使用して梁を固定した。

2-8 竣工

施工期間30日間、以上の過程を経て図3のようにフリースペースの施工が完了した。



図3 フリースペース（竣工）

3. まとめ

今回の総合制作では、雑然とした空間を学生が快適で利用しやすい環境にリフォームするというテーマに取り組んだ結果、一連の工程において、様々な問題が発生したが授業で学んだ知識を活かし、試行錯誤を繰り返し、設計通りのものを創ることを、実際に体験できた大変貴重な機会となった。

課題実習「テーマ設定シート」様式及び記載例

作成日： 7月 22日

科名：住居環境科

教科の科目		実習テーマ名	
総合制作実習		フリースペースリフォームへの取り組み	
担当教員		担当学生	
住居環境科 黒瀬敏浩			
課題実習の技能・技術習得目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・改修プランの企画・立案能力。それに基づく設計図書の作成技術および設計監理技術の習得。 ・設計図書に基づく施工技能および施工管理技術の習得。 ・学生間の連携を密にし、情報共有を図ることによるコミュニケーション能力、問題解決能力の向上。 			
実習テーマの設定背景・取組目標			
実習テーマの設定背景			
<p>当科学生には工務店の施工管理職種への就職希望者が多いことから、改修に伴う「設計監理」および「施工管理」を施設内で模擬的に行うことにより、設計から施工までの一連の流れについて、理解を深めるために本テーマを設定した。</p>			
実習テーマの特徴・概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックスペースに求められる機能に対する改修プランの作成。 ・改修作業に伴う工程計画の立案。また、それに基づく施工管理の実施。 ・建物内部における造作部材の構成および納まりの検証。 			
No	取組目標		
①	本テーマに取り組む目的を確認する。		
②	本テーマに必要な資料・材料・工具等の準備・管理を行う。		
③	全工程のスケジュール管理を行い、成果物の期限内完成を目指す。		
④	改修の設計・施工を行う。		
⑤	一連の作業結果を踏まえた問題点の分析、解決に取り組む。		
⑥	5Sの実現に努め、安全衛生活動を行う。		
⑦	梗概集の作成、発表用パワーポイントの作成、成果物の展示および発表を行う。		
⑧	実習の進捗状況、発生した問題等について、単独、グループの場合に関わらず担当教員へ報告を行う。		
⑨			
⑩			